

国家基本政策委員会合同審査会ニュース

平成 30. 6. 27 第 196 回国会第 2 号

6 月 27 日（水）、第 2 回の合同審査会が開かれました。

1 国家の基本政策に関する件

・枝野幸男君（立憲）、大塚耕平君（民主）、志位和夫君（共産）、片山虎之助君（維新）及び岡田克也君（無会）が、安倍内閣総理大臣と討議を行いました。

（討議者及び主な討議内容）

枝野幸男君（立憲）

- ・自民党は2019年の参議院議員通常選挙に向け、参議院の議員定数を6議席増やす公職選挙法改正案を提出した。同年10月に消費税率の10%への引上げを予定している中で、国民の理解を得られると考えているのか。
- ・『子供を産まない方が幸せ』という意見は勝手だ、「今の日本に食べるに困るような家庭はない」とする主張に対し、どのような認識を持っているのか。
- ・安倍総理は6月25日の参議院予算委員会で、米軍のF15戦闘機墜落事故を受け同型機の飛行中止を申し入れたと答弁したが、在日米軍はそのような要請を受けたことを否定している。総理は虚偽の答弁を行ったのか。

大塚耕平君（民主）

- ・2018年の骨太の方針で、2019年4月から外国人労働者を本格的に受け入れる方針が示されたが、もっと時間をかけて議論する考えはないのか。
- ・新たな在留資格の内容は、政府が移民受入政策に転換したのではないかという指摘もあるが、移民の定義について総理の見解を伺いたい。
- ・今回の骨太の方針では、プライマリーバランス黒字化の目標が2025年に先送りされたが、これまで甘い見通しで財政健全化が挫折してきたことを踏まえて、1997年に制定された財政構造改革法のような法的枠組みを作るべきではないか。

志位和夫君（共産）

- ・総理の腹心の友が経営する加計学園が事を前に進めるために総理の名前を使い、また、総理秘書官が深く関与した結果、同学園への愛媛県及び今治市からの補助金が大幅に増額されたことに対する総理の認識について伺いたい。

片山虎之助君（維新）

- ・自民党は今国会会期末に参議院選挙改革法案を提出した。審議時間が足りないこの時期に提出するのは自民党のおごりではないかと思うが、総理の認識を伺いたい。
- ・参院選挙制度改革をめぐる与野党協議では、定数を増やさないのが前提だったが、この法案では6名増員になっている。国民の負担を考慮すれば議員定数の増員を前提とした法改正を行うべきではないと考えるが、自民党総裁としての認識を伺いたい。

岡田克也君（無会）

- ・森友学園問題における公文書の隠蔽や改ざん、国会での虚偽答弁について、民主主義の根幹にかかわる問題だという認識はあるのか。
- ・森友学園問題について、総理は行政の長としてではなく、当事者としての責任を認めるべきではないか。
- ・総理の答弁と矛盾しないよう、財務省による公文書改ざんが行われたと考えるが、総理は責任を感じないのか。